



災害時のトイレ対策について学んだ防災講座  
＝島田市の横井町公会堂

## 災害用トイレ準備を

島田・横井町 自主防災会が講座

島田市の横井町自主防災会はこのほど、防公会堂で開いた。地元

住民約70人が、地域の現状報告や講座を通して災害への備えを確認した。

防災委員長の伊東猛さんが横井町内の高齢化率や耐震化率について報告したほか、町内で独自に作成した大地震発生時の行動マニュアル「行動手順書」について説明した。

浄化槽の維持管理を行う富永專業（同市）

の山本麻美代表取締役を講師に招いた講演も行った。山本さんは災害時のトイレ環境をテーマに、過去の震災時の状況を例に挙げながら説明した。

災害直後はトイレが使えないことから「最低でも1週間分の災害用トイレの準備を」と呼び掛け、災害用トイレの種類や使用者の感想を紹介した。

被災時に快適なトイレ環境を整えるため、事前にルールを決めることや、備品を用意しておくことの大切さも訴えた。